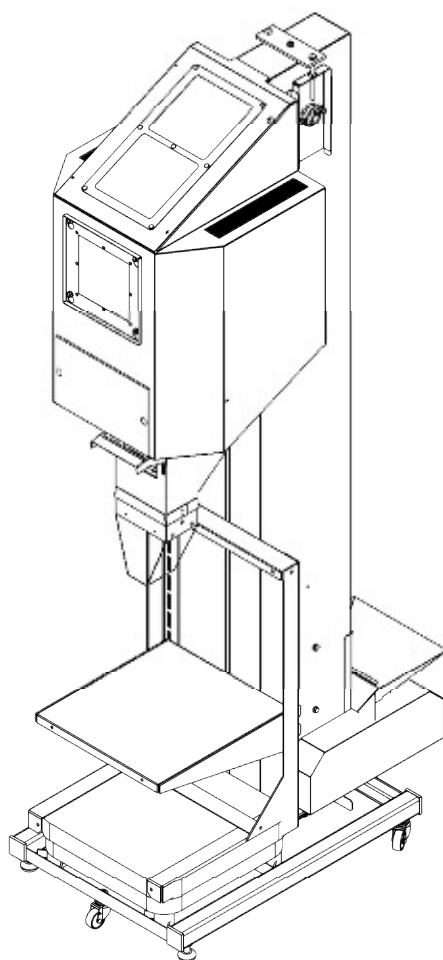


取扱説明書

IRINO

白米計量機

HK40C



a, 白米計量機

b, 自動計量秤



正しく安全に効率良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

白米計量機

をお買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は「白米計量機」の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も 必ず製品に近接して保存 してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店にご注文してください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を予告無く行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目です。必ずお守りください。
 -  **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 -  **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 -  **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。
- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」 を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

もくじ

はじめに	1
もくじ	2
安全に作業をするために	3
サービスと保証について	4
仕様	5
本製品の使用目的について	5
各部の名前、安全銘板の貼り付け位置	6
お使いになる前に	
(1) 部品名及び明細	7
(2) 梱包解体	8
(3) 組立	9
(4) 配線	10
作業のしかた	
(1) 設置方法	11
(2) 計量の仕方	12
作業後の手入れについて	13～14
点検・調整について	15
不調診断	16～17

安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目

 **警告** 下記の時は使用しないでください

●疲労、病気、薬物の影響、その他の理由により、
作業に集中できない。

●お酒を飲んだとき

●妊娠しているとき

●18才未満の人

「守らないと」

思わぬ事故の原因になります。

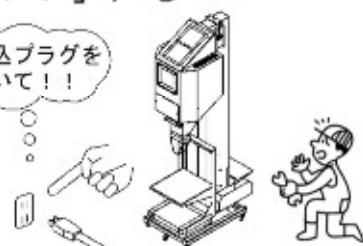


 **警告**

点検・整備には必ず電源を「OFF」にし
差し込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし
差し込みプラグを抜いてから行ってください。

差し込みプラグを
抜いて！！



 **注意**

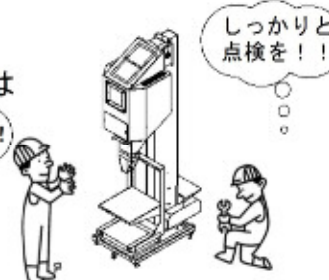
必ず作業前の点検をする

本機を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は
直ちに整備してから作業を始めてください。

また、作業終了時も点検を行って異常がないか
チェックしてください。

異常なし！

しっかりと
点検を！！



 **注意**

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで外したアングル、カバーなどは
必ず取り付けてください。

「取り付けないと」

倒壊や傷害事故を招く恐れがあります。



サービスと保証について

保証書について

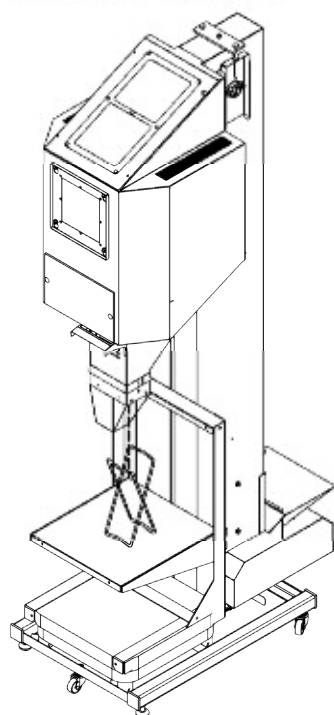
「保証書」はお客さまが保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは16、17ページの「不調診断」に従って点検、処置しなお不具合があるときには、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店までご連絡してください。

<連絡していただきたい内容>

- 型式名と機体番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
(約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

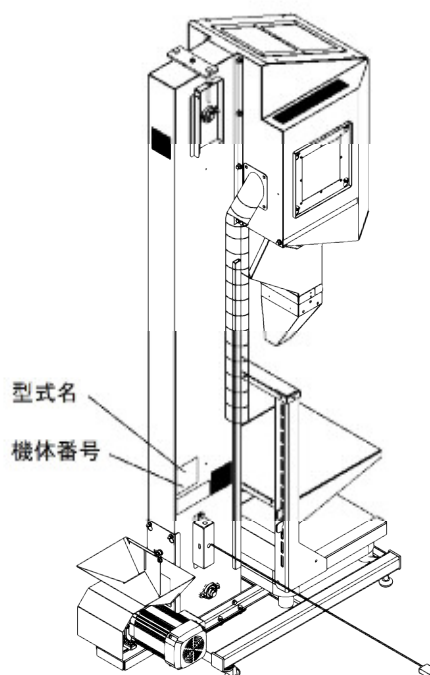


補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は製造打切後8年です。

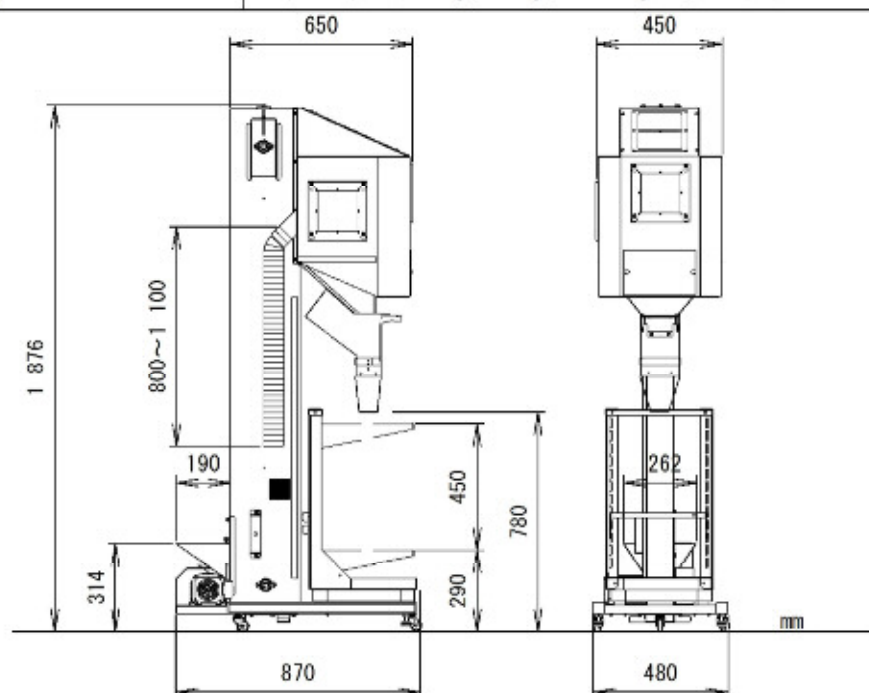
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても部品供給の要請があった場合には納期および価格についてご相談させていただきます。



仕様

品名		白米計量機
型番		HK40B/C
機体寸法		全長 870mm
		全幅 480mm
		全高 1876mm
ホッパー容量		約40kg (玄米)
機体重量		約67kg (秤含む)
搬送	搬送能力	1200kg/h (玄米)
	仕様電源/出力	モーター：単相100V/100W
計量	計量範囲/目量	2kg～35kg/20g
	使用電源	秤：単相100V
除鉄粹		マグネットバー (表面磁束密度 700mT 2本)
付属品		開口器 (2kg, 5kg, 10kg用各2個)



本製品の使用目的について

本製品は玄米、白米の袋詰計量機としてご使用ください。

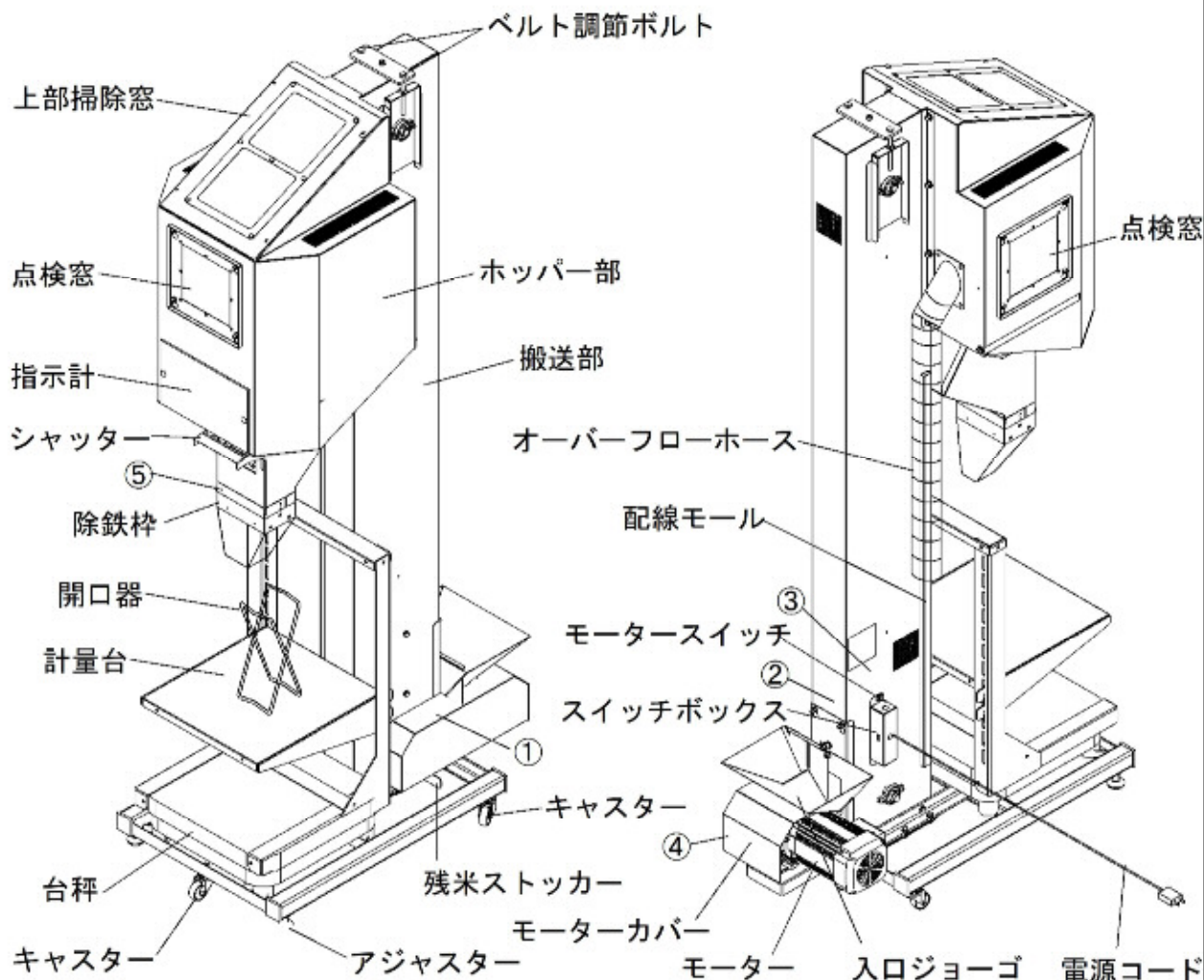
使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

(詳細は、保証書をご覧ください。)

各部の名前、安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の位置を示したものです。安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



①S900-016

注意 ベルトカバーなどの防護カバーは必ず装着してください。はずしたまま運転するとケガをするおそれがあります。

⑤61C050A

高磁力製品が組み込まれている為、時計・携帯電話等の磁気媒体・電子機器を近づけないようにしてください

④S900-003

②S900-008

警告

運転中は絶対に手や指を入れないで下さい。ケガをするおそれがあります。

③S900-031

注意

取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。

●電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。

●作業を中断したり、終了するときは必ずスイッチを切り、差込プラグを抜いてください。

点検時モーター停止

電源を入れたまま点検整備をするとケガをするおそれがありますので、必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜いてください。

注意

運転中は、ベルト部に手を触れないで下さい。ケガをするおそれがあります。

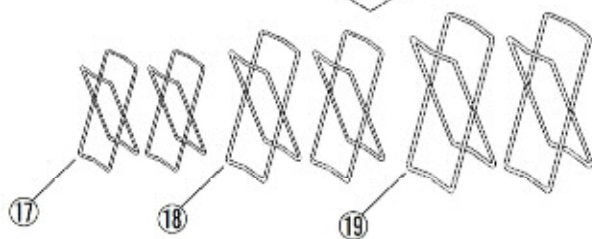
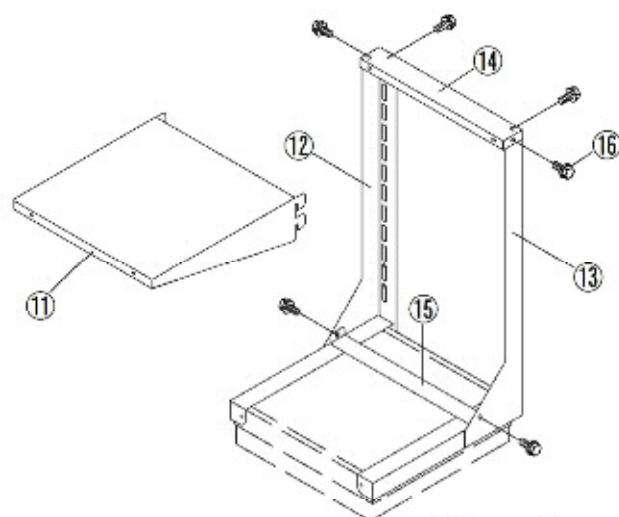
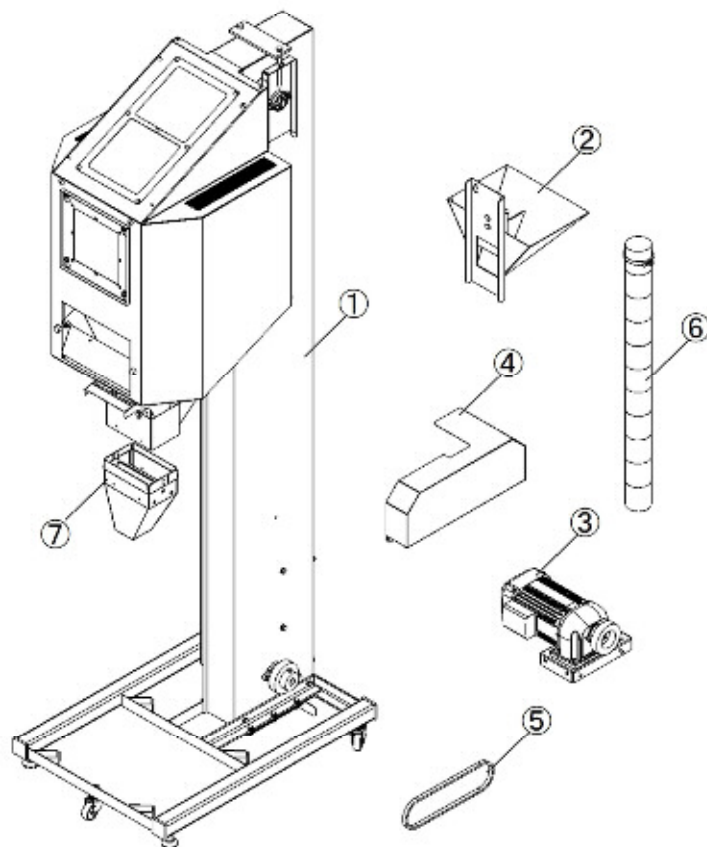
お使いになる前に

(1) 部品名及び明細

* 白米計量機を組み立てる前に梱包されている部品の確認をお願いします。

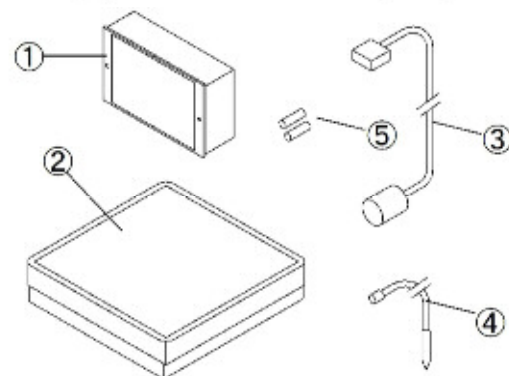
a、白米計量機

NO	名称	個数
①	本体部	1
②	入口ジョーゴ	1
③	モーター部	1
④	モーターカバー	1
⑤	Vベルト	1 A-25
⑥	オーバーフローホース	1 バンド付
⑦	除鉄棒	1
⑪	計量台載板	1
⑫	計量台横板(左)	1
⑬	計量台横板(右)	1
⑭	計量台上板	1
⑮	計量台下板	1
⑯	M6×18 P3 ボルト	6
⑰	開口器(2kg用)	2
⑱	開口器(5kg用)	2
⑲	開口器(10kg用)	2



b、自動計量秤

NO	名称	個数
①	指示計	1
②	台秤	1
③	ロードセルケーブル	1
④	アース線	1
⑤	ヒューズ(予備)	2

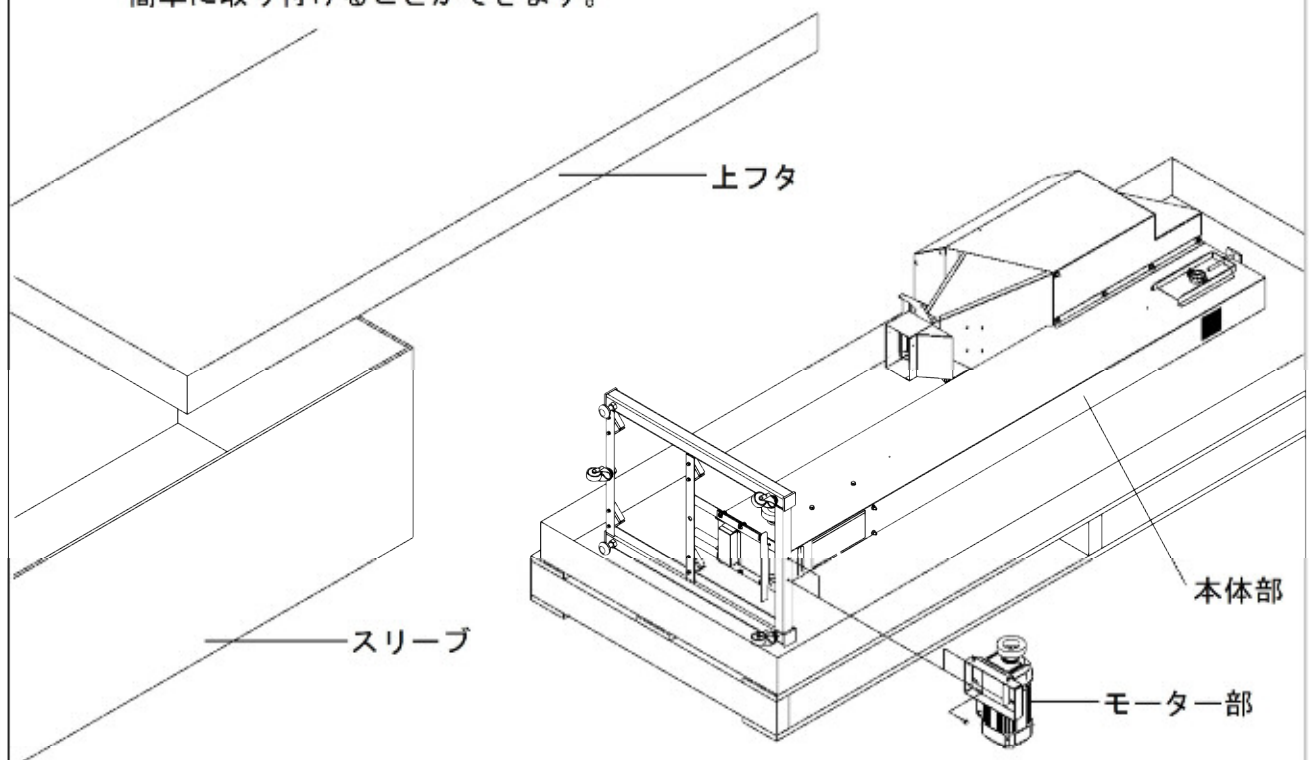


お使いになる前に

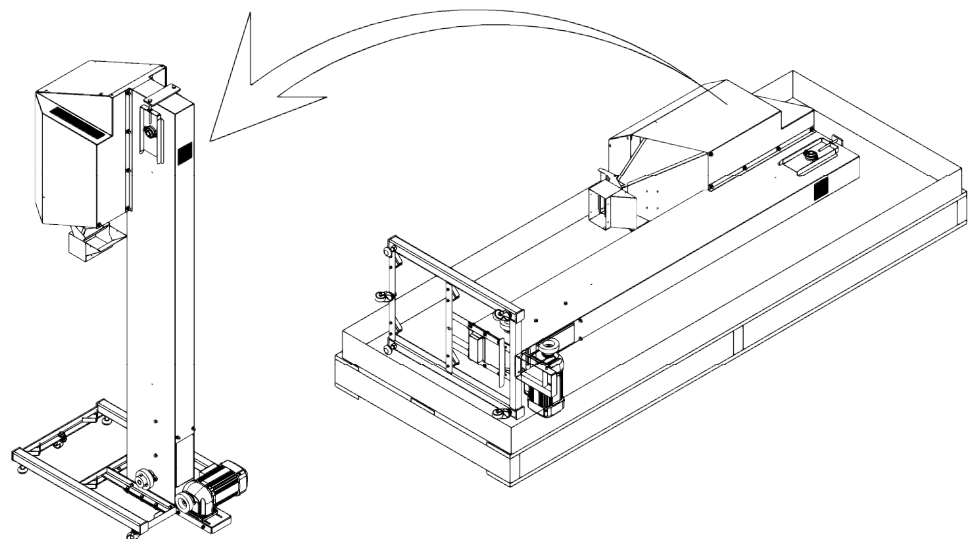
(2) 梱包解体

* 梱包を解体して、白米計量機の本体部、その他部品を取り出してください。

- 1、梱包箱のバンドを取り外してください。
- 2、梱包箱の上フタ、スリーブを取り除いてください。
- 3、モーター部を取り出し、本体部にモーター部を取り付けてください。
→後でもモーター部の取り付けは可能ですが、この状態で取り付けの方が簡単に付けることができます。



- 4、本体部を立て起こしてください。
→本体部を立て起こす時は必ず2人以上で周囲に注意を払いながら作業をしてください。
→本体部に過剰な衝撃が加わらないように注意しながら本体部を立て起こしてください。



お使いになる前に

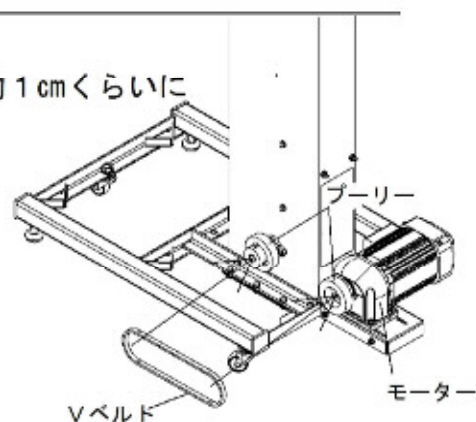
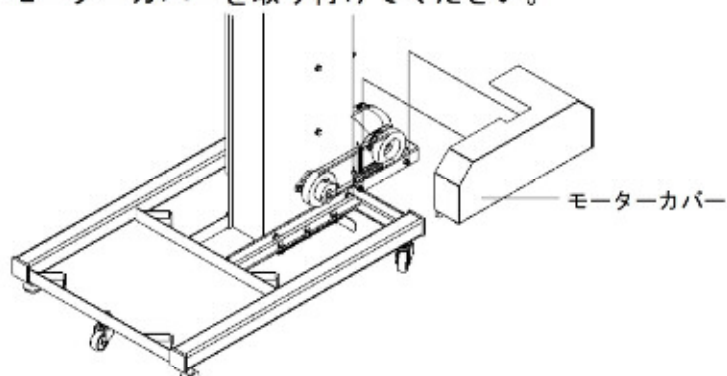
(3) 組立

1、Vベルトをプーリーに掛けてください。

→Vベルトの中間部分を指で軽く押して、タワミが約1 cmくらいになるようにモーター位置を調節してください。

(P 14 Vベルトの調節を参照してください。)

2、モーターカバーを取り付けてください。



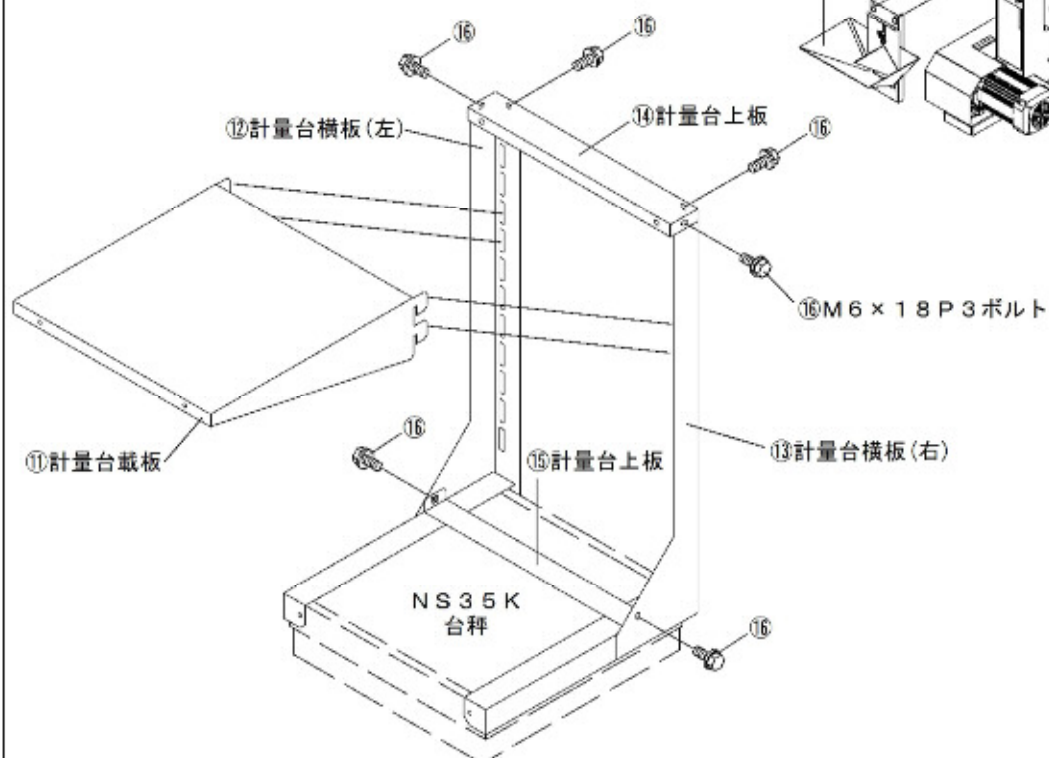
3、入口ジョーゴを取り付けてください。

4、オーバーフローホースを取り付けてください。

5、下記図を参照して台秤上に計量台を組み付けてください。

オーバーフローホース

入口ジョーゴ



お使いになる前に

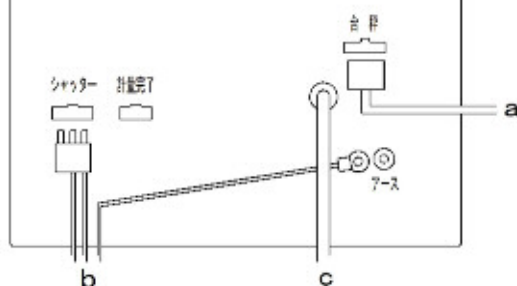
(4) 配線

1、指示計の各種配線をしてください。

- a、ホッパー内にロードセルケーブルを通し指示計と接続してください。
- b、ホッパー内にあるシャッター線とアース線を指示計に接続してください。
- c、指示計の100V電源ケーブルをホッパー内に通してください。

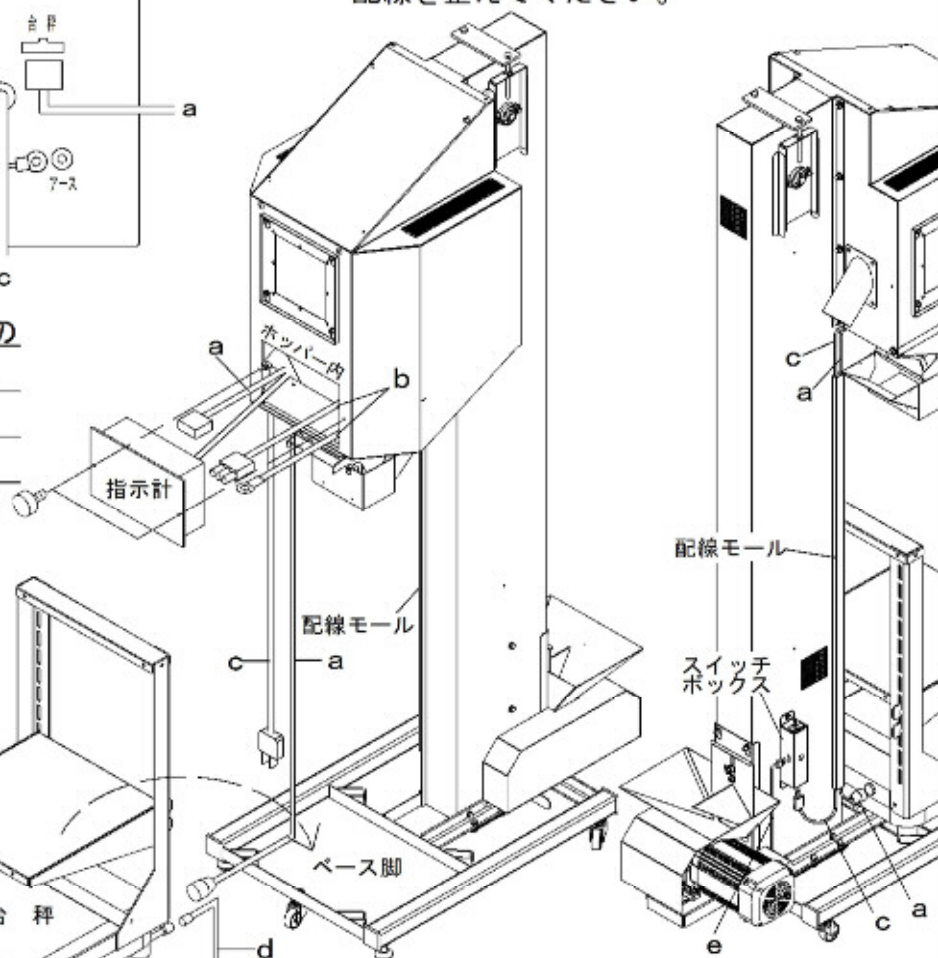
2、ホッパー内に指示計を取り付けてください。

指示計背面



3、a、cのケーブルは配線モール内に入れて配線を整えてください。

* a ロードセルケーブルの
コルゲートチューブは
配線モールに合わせて
切断してください。



4、cのプラグはスイッチボックス下面にある指示計コンセントに差し込んでください。

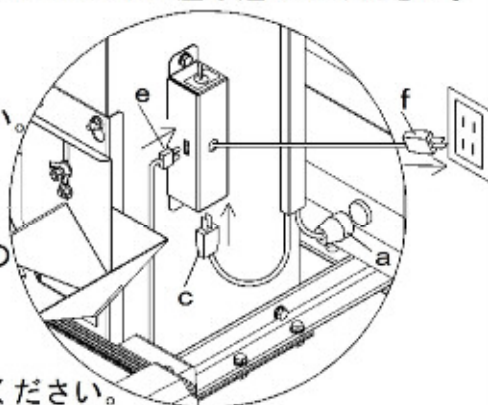
5、ベース脚の上に台秤をセットしてください。

6、台秤の各種配線をしてください。

- a、台秤とロードセルケーブルを接続してください。
- d、台秤とアース線を接続してください。

7、eのモーターコードのコネクタをスイッチボックスの横面に差し込んでください。

8、fの電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。



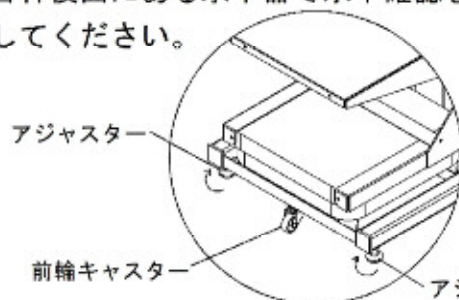
作業のしかた

1、設置方法

セット例（色彩選別機の良品排出された米の計量袋詰）

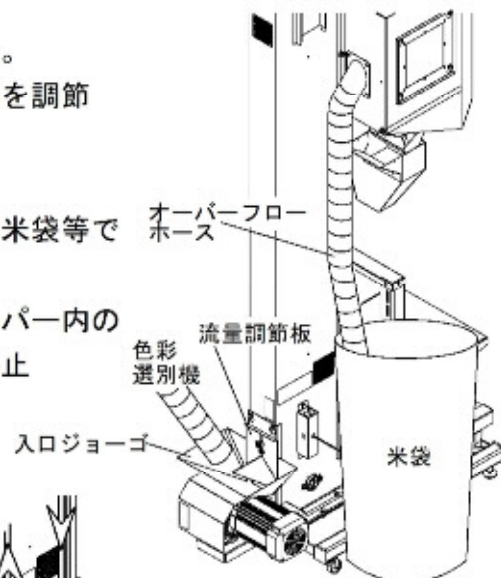
色彩選別機に横付けして使用してください。

- 1、前輪キャスターが少し浮く程度に本体部のアジャスターを手で回して下げてください。
→台秤後面にある水平器で水平確認をしてください。

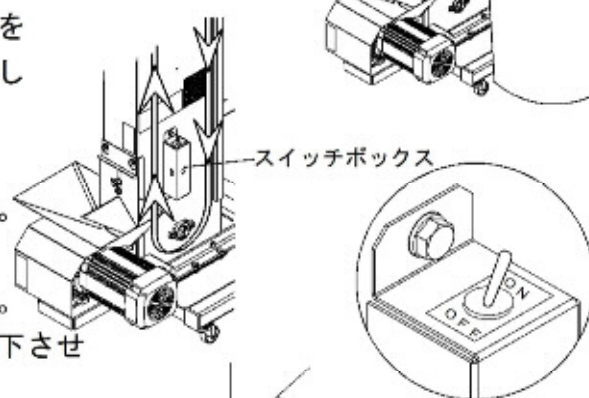


- 2、色彩選別機の良品出口ホースを白米計量機の入口ジョーゴに接続してください。
→流量調節板の上げ下げで搬送部内への搬送量を調節できます。

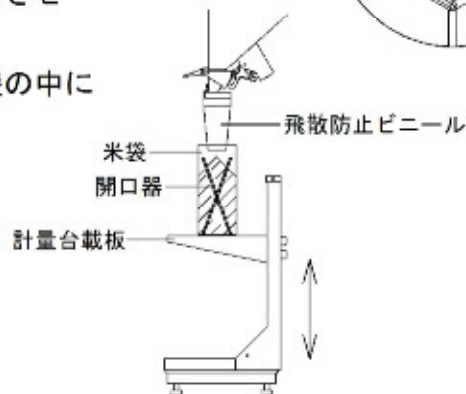
- 3、オーバーフローホースから排出される米を空の米袋等で受けてください。
→オーバーフロー口から米が出始めたら、ホッパー内の米を排出するか、色彩選別機からの投入を停止もしくは減少させてください。



- 4、スイッチボックスのトグルスイッチをONにすれば搬送部モーターが作動し搬送ベルトが回転します。
→搬送ベルトが右記矢印方向に回転しているか確認してください。

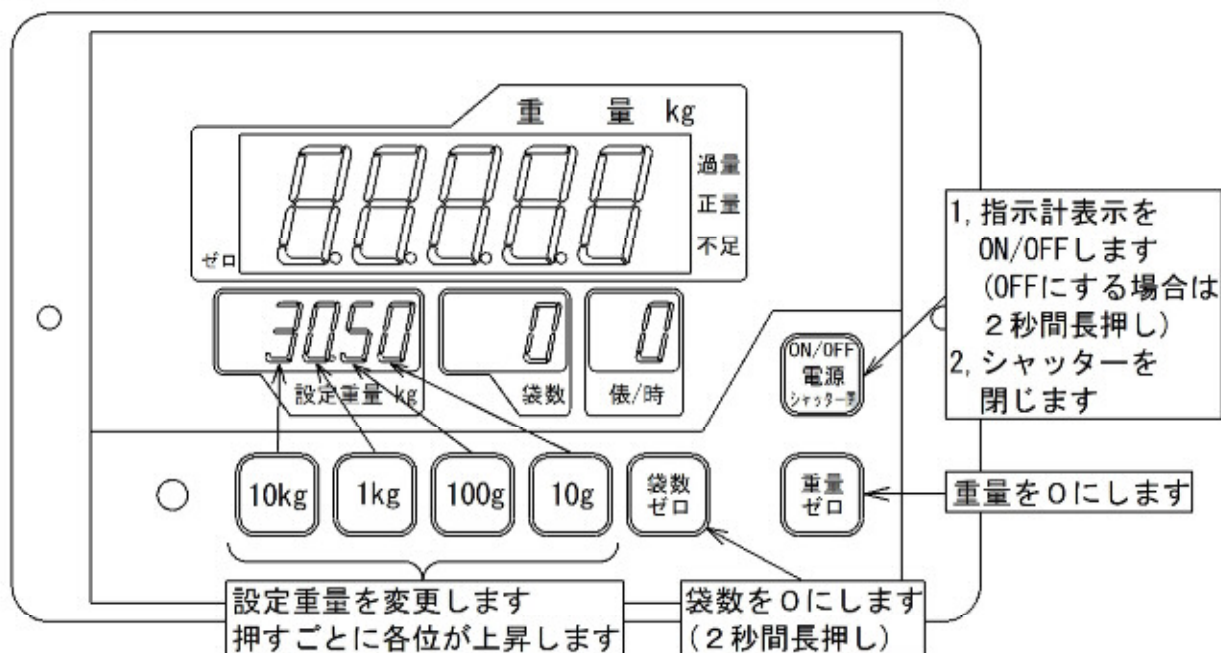


- 5、米袋の中に開口器を入れてください。
米袋サイズに応じて計量台載板を上下させ調節してください。
→目安は飛散防止ビニールの先が米袋の中に少し入り込むくらいです。



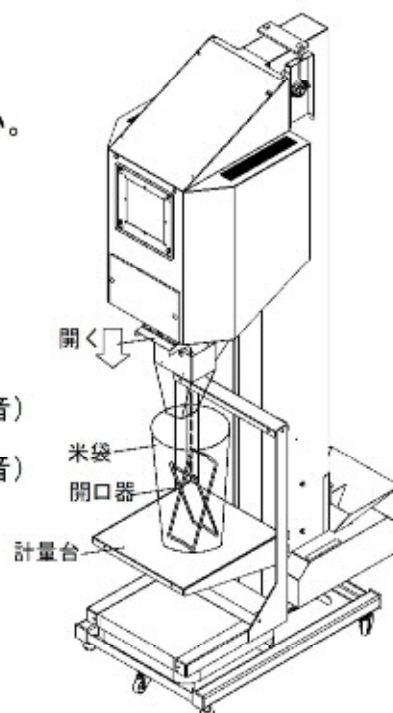
作業のしかた

指示計詳細



2、計量の仕方（正味重量計量の場合）

- ① **ON/OFF 電源 シャッター** キーを押して指示計を表示させます。
- ② 計量台の上に開口器を入れた米袋をセットしてください。
- ③ **重量ゼロ** キーを押して重量表示を「0」にしてください。
- ③ シャッターを開くと計量が始まります。
- ④ 設定重量の 1kg 手前で 1 段目シャッターが作動、
さらに設定重量でシャッターが閉じ計量が完了します。
ブザー（正量 — — — — ピッピッピッ（断続音）
過量、不足 ———— ピー————（連続音）
- ⑤ 計量台から米袋を降ろしてください。



ブザー音量変更方法

- ① 指示計表示が OFF の状態で
- ② **1kg** キーを長押し→重量表示に **bu** と表示される
- ③ 設定重量に表示される 1、2、3 を **1kg** キーで切り換える
- ④ 設定終了後 **ON/OFF 電源 シャッター** キーを長押し→電源が OFF になり設定完了

- 1：小
- 2：中
- 3：大

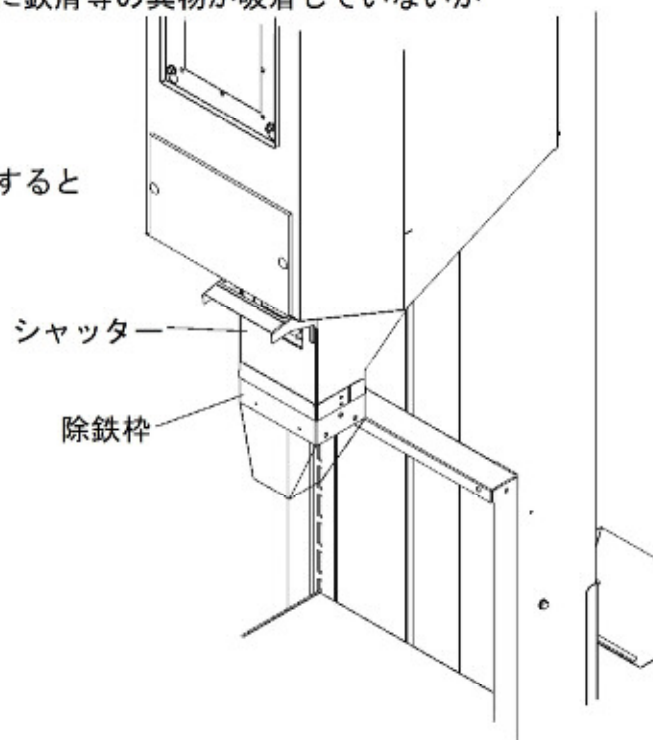
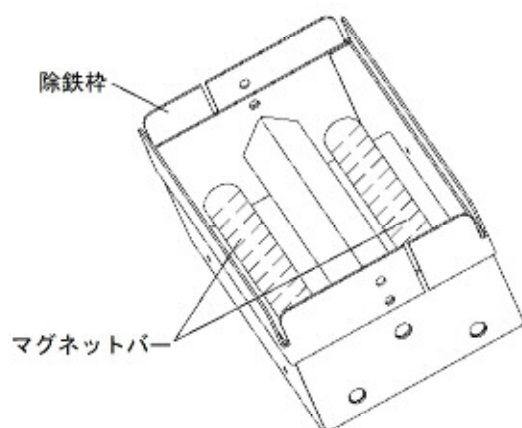
作業後の手入れについて

▲ 注意 除鉄棒は高磁力製品が組み込まれている為、時計・携帯電話等の磁気媒体電子機器を近づけないようにしてください。機器の精度が悪くなったり記憶内容が破壊される恐れがあります。

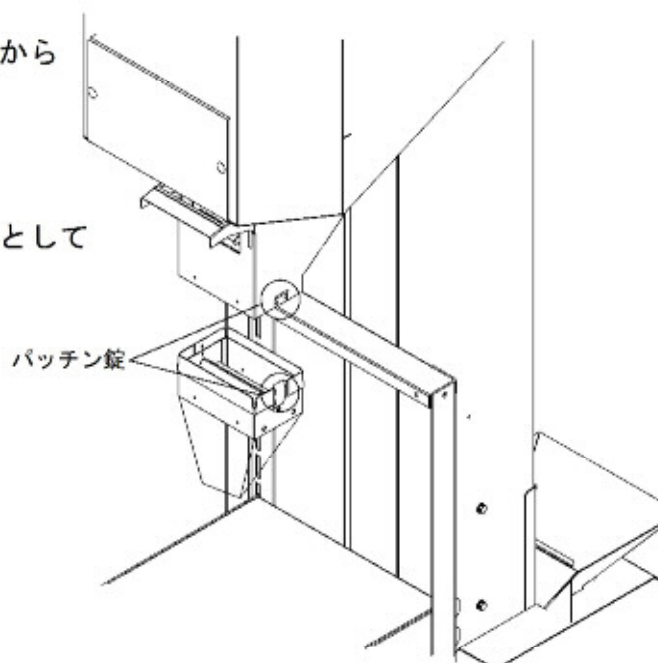
* 除鉄棒は定期的に取り外しマグネットバーに鉄屑等の異物が吸着していないか確認をしてください。

除鉄棒の仕組み

鉄屑等の異物がマグネットバーの間を通過すると磁力で吸着し異物の排出を防止します。



- 1) 除鉄棒のパッチン錠を解除しシャッターから除鉄棒を取り外してください。
- 2) マグネットバーに鉄屑等の異物が吸着している時は取り除いてください。
鉄粉や汚れが付着している時は清掃方法として
a) きれいな布でぬぐい取る。
b) 粘着テープを使用する。
c) エアで吹き飛ばす。
といった方法があります。
- 3) 清掃が終わったら元通りに除鉄棒を取り付けてください。



▲ 危険 心臓ペースメーカー等の、体内埋込型医用電子機器を装着している方は除鉄棒に近づかないでください。電子機器の誤作動を招く恐れがあります。

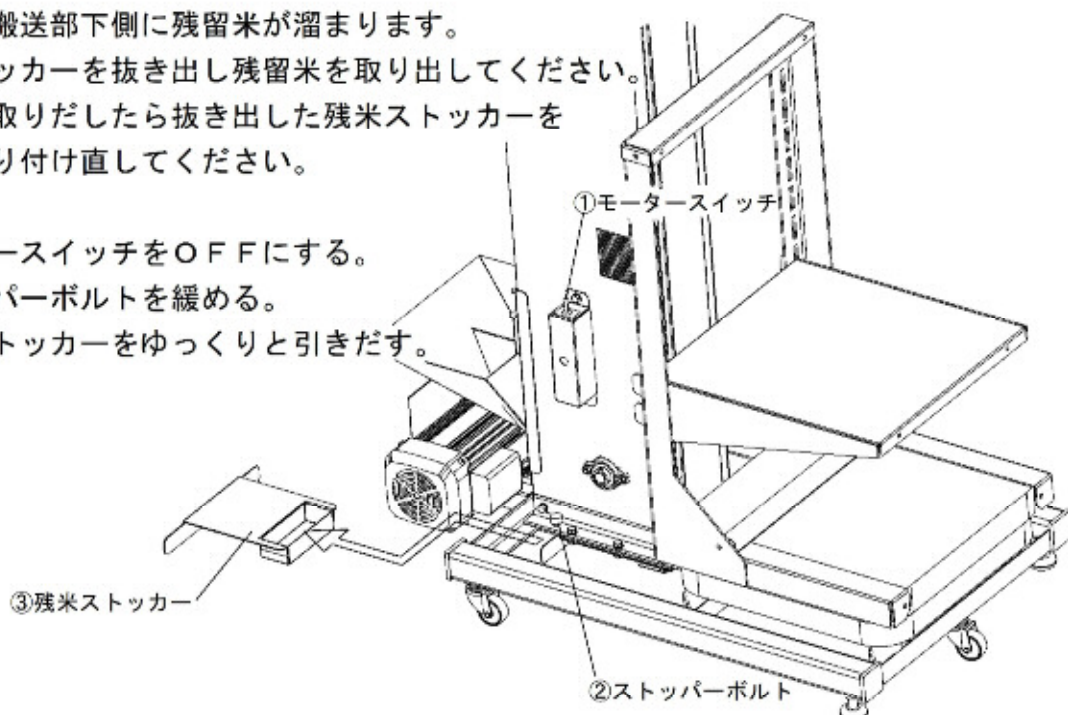
作業後の手入れについて

▲ 警告 残留米を取り出すときは、必ず電源を切ってモーターを停止させ搬送ベルトが完全に止まってから行ってください。モーターが回転したまま作業を行うとケガをするおそれがあります。

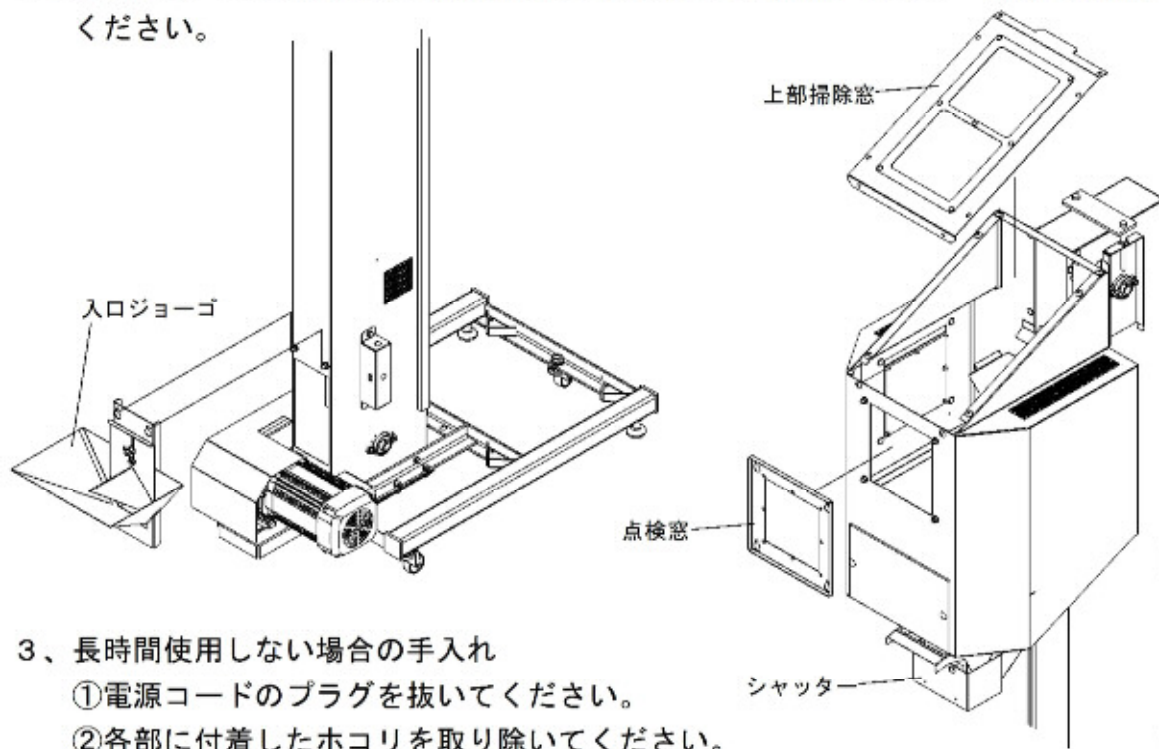
- 1、作業後は搬送部下側に残留米が溜まります。

残米ストッカーを抜き出し残留米を取り出してください。
残留米を取りだしたら抜き出した残米ストッカーを元通り取り付け直してください。

- ①モータースイッチをOFFにする。
- ②ストッパーボルトを緩める。
- ③残米ストッカーをゆっくりと引き出す。



- 2、入口ジョーゴ、点検窓、上部掃除窓を取り外して昇降機、ホッパー内部を清掃してください。



- 3、長時間使用しない場合の手入れ

- ①電源コードのプラグを抜いてください。
- ②各部に付着したホコリを取り除いてください。
- ③ねずみ侵入防止のため、入口ジョーゴ、シャッター部分を厚手のビニールで覆ってください。

点検・調整について

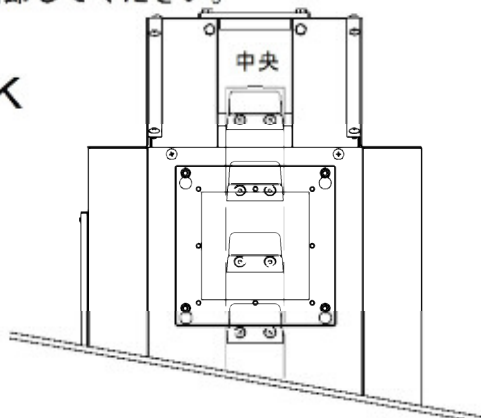
▲ 警告 点検や調整は、必ずモータースイッチを「OFF」にし差込プラグをコンセントから抜き、ベルトが完全に止まってから行ってください。また、点検や調整後に通り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けてください。

(1) 搬送ベルトの調節

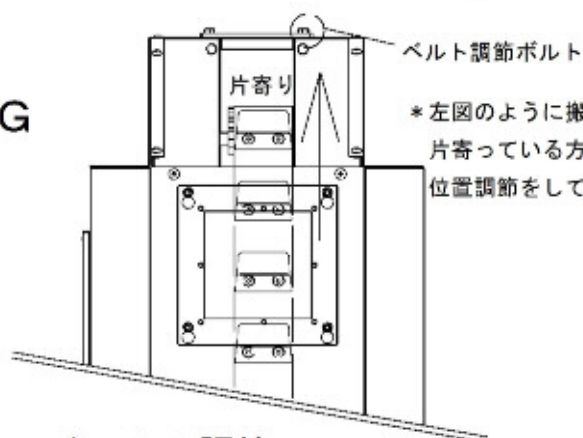
- 1) 搬送ベルトやポケットが内部に接触することなく回転しているか確認してください。

→搬送ベルトの片寄りや張りが弱い場合はベルト調節ボルトを回し調節してください。

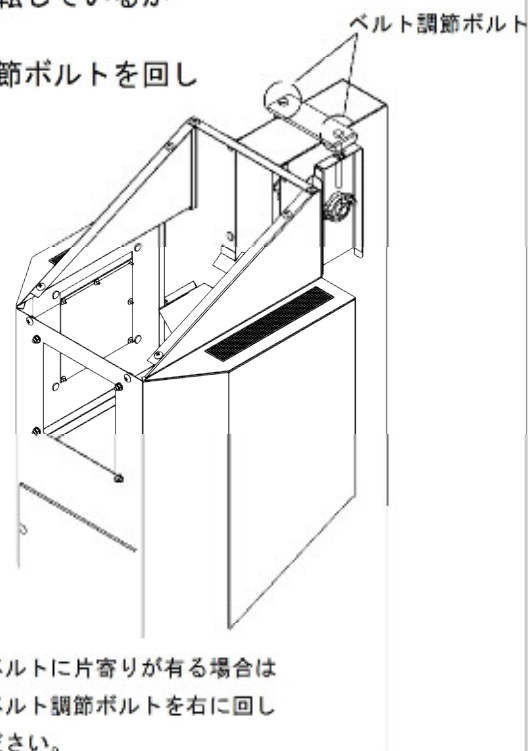
OK



NG

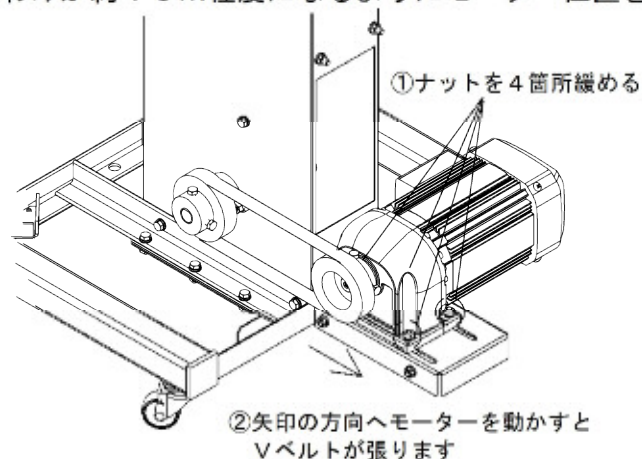
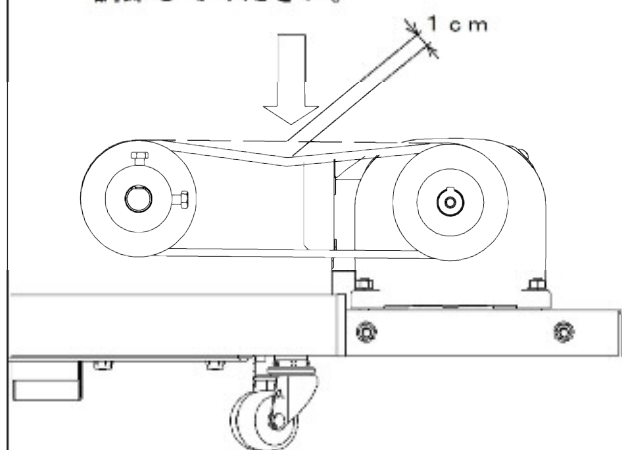


*左図のように搬送ベルトに片寄りが有る場合は片寄っている方のベルト調節ボルトを右に回し位置調節をしてください。



(2) Vベルトの調節

- 1) Vベルトの中間部分を指で軽く押して、たわみが約1 cm程度になるようにモーター位置を調節してください。



不調診断

搬送部分

状 況	点 検 箇 所 ・ 事 項	処 置
モーターが回らない (搬送ベルトが回転しない)	1) 電源プラグが確実に入っていない 2) 端子部の締め付けが緩んでいる 3) 断線している 4) スイッチの不良	1) 電源プラグを差し込んでください 2) 端子部を締め付け直してください 3) 断線を修理してください 4) スイッチを交換してください
モーターの負荷電流値が高い	1) 投入量が多い 2) 軸受部やモーターの損傷	1) 投入量を能力内になるよう流量調節板で調節してください 2) 軸受部やモーターを交換してください
モーターが再起動しない	1) 搬送部内に搬送物が詰まっている 2) 差込みソケットが確実に入っていない 3) 端子部の締め付けが緩んでいる 4) 断線している 5) スイッチの不良	1) 搬送部内の搬送物を全て取り出してください 2) 差込みソケットを差し込んでください 3) 端子部を締め付け直してください 4) 断線を修理してください 5) スイッチを交換してください
搬送能力が低い	1) 投入量が少ない 2) 搬送ベルトがスリップしている 3) Vベルトがスリップしている 4) 搬送バケットが磨耗している	1) 供給量を増やしてください 2) 搬送ベルトの張りを調節してください 3) Vベルトの張りを調節してください 4) 搬送バケットを交換してください
搬送物が投入口より入っていない	1) 搬送ベルトがスリップしている 2) Vベルトがスリップしている 3) モーターの回転方向が、搬送方向に合っていない 4) 搬送能力以上の搬送物が供給されている 5) 搬送部分が詰まっている	1) 搬送ベルトの張りを調節してください 2) Vベルトの張りを調節してください 3) モーターの回転方向を訂正してください 4) 供給量を減らしてください 5) 搬送部分の詰まりを解消してください
搬送ベルトがスリップする	1) 搬送ベルトの張り調節不足 2) 搬送部内に搬送物が詰まっている 3) 搬送ベルトが片寄りし搬送部内の内側に接触している	1) 搬送ベルトの張りを調節してください 2) 搬送部内の搬送物を全て取り出してください 3) 搬送ベルトの片寄りを直してください
搬送部内で異常音がする	1) 搬送ベルトが片寄りし搬送部内の内側に接触している	1) 搬送ベルトが中央で回転するようにベルト調節金具で調節してください
搬送バケットが底板に当る	1) 搬送ベルトが伸びている	1) 搬送ベルトを短くしてください
搬送ベルトが片寄りする	1) 搬送ベルトの張り調節が左右でずれている	1) 搬送ベルトが中央で回転するようにベルト調節金具で調節してください
異物が排出される	1) 搬送部内の隅や搬送ベルトに付着した固形物がはがれている	1) 付着を確認後へら等で固形物を取り除いてください

不調診断

シャッター・計量部分

状 況	点 検 箇 所 ・ 事 項	処 置
シャッターが閉まらない	1) シャッターから出ているコネクタが抜けている	1) コネクタを確実に差し込んでください
	2) ソレノイド、台秤、指示計が故障している	2) 販売店へご相談してください
ソレノイドで異常音がする	ソレノイド吸着面にゴミが入っていたりサビている	ゴミやサビを取り除いてください
計量誤差がある	1) 台秤が振動している	1) 振動の原因を取り除いてください
	2) アースが取れていない	2) 指示計、台秤のアースを取ってください
	3) シャッターが正常に作動していない	3) 販売店へご相談してください
重量表示が「0」にならない	1) ゼロ点がずれている	1) 「重量ゼロ」キーを押して重量を「0」にしてください
	2) 台秤上に米がこぼれている	2) 台秤上の米を取り除いてください
「袋数ゼロ」キーを押しても「0」表示しない		「袋数ゼロ」キーを2秒間長押しすると「0」表示します
「電源」キーを押しても電源がONにならない	100V電源が供給されていない	電源コードを確実に差し込んでください
「電源」キーを押しても電源がOFFにならない		「電源」キーを2秒間長押しすると電源がOFFになります
「FFFFFF」と表示する	ひょう量オーバー	ひょう量(3.5kg)以下で使用してください
「-----」と表示する	マイナスオーバー	電源コードを抜いて、再度差し込み、電源を入れなおしてください。正常に戻らない時は販売店へご相談してください。
「-EEEE」と表示する	パワーオンゼロ点マイナスオーバー	
「CCCCC」と表示する	パワーオンゼロ点プラスオーバー	
「-----E」と表示する	AD異常	
指示計が表示しない 指示計の表示がおかしい	指示計が故障している	販売店へご相談してください

製造販売元



株式会社

岡山農栄社

ホームページ <http://noeisha.co.jp>

本社	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
本社営業所	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
北海道営業所	〒078-8275 旭川市工業団地5条3-3-1	TEL (0166) 36-5115
東北営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町4-2-44	TEL (022) 232-5609
関東営業所	〒372-0023 群馬県伊勢崎市粕川町1616	TEL (0270) 21-8127
九州営業所	〒862-0911 熊本市東区健軍3-45-13	TEL (096) 368-7407

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			